

船舶事故等調査報告書

平成22年8月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010神第74号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成22年5月1日 10時36分ごろ	
発生場所	徳島県徳島市今切川河口 <small>いまぎれかわ</small> 今切港長原導流堤灯台から真方位283°850m付近 (概位 北緯34°06.3′ 東経134°36.0′)	
事故等調査の経過	平成22年5月6日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	巡視艇 うずかぜ、23トン	
船舶番号、船舶所有者等	133831、国土交通省	
乗組員等に関する情報	船長、四級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、船長ほか4人が乗り組み、船首約0.8m、船尾約1.2mの喫水で、今切港に至る今切川河口に向けて南進中、平成22年5月1日10時36分ごろ、今切川河口南側の浅所に乗り揚げた。 本船は、約7時間後、タグボートにより引き下ろされた。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北、風速 約5m/s、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 下げ潮の中央期	
その他の事項	事故当時、今切川河口を北西進する漁船があった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、今切川河口に向けて南進中、予定変針場所を通過し、南進を続けて今切川河口南側の浅所に乗り揚げたものと考えられる。 船長は、今切川河口を北西進する左舷前方の漁船に注意が向き、予定変針場所を通過したことに気付くのが遅れた可能性があると考えられる。
原因	本インシデントは、本船が今切川河口に向けて南進中、予定変針場所を通過して南進を続けたため、今切川河口南側の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	